

郡上農林事務所の普及活動状況

令和元年10月25日現在

今月の重点活動

■ 郡上花き園芸組合 夏期冷涼な気候を活かした商品づくりの支援活動

農業普及課では、中山間地の冷涼な気候を活かしたゼラニウム「ホワイトトローズ」秋作型での商品づくりの支援活動を行っている。

1カ月に3回の頻度で、草丈、葉数、芽数などの生育や肥料の養分吸収量を調査し、肥培管理について生産者に提案している。

白とピンク色の花卉を持つゼラニウムの出荷は、9月下旬から10月まで行われた。

生産者からは、「この時期のゼラニウムの出荷は珍しく、中山間地域の気候を活かした商品となっている。他の生産者も栽培を始めてほしい。」との意見が出ている。

今後農業普及課では、地域に適した管理について調査を継続し、地域内での普及のための取り組みを行うこととしている。



【ゼラニウム生育状況の様子】

売れるブランドづくり

■ 岐阜県GAP確認審査 GAPの農場審査

農業普及課では、GAPの普及指導を重点的に行っており、昨年度より生産者へのGAP理解促進、農場指導、岐阜県GAP確認制度への取り組み支援を行ってきた。

10月中旬、岐阜県GAP確認制度の取り組みを行ってきたアスパラガス生産者の木村農園において新規農場審査を、昨年度からGAP確認制度に取り組む(株)奥美濃プロデュースでは維持審査を実施した。

郡上管内ではこの他にも今年度中に新規確認申請を行う農場が数か所あり、指導を行っているところであり、今後も岐阜県GAP確認制度に適合する生産者が増えるように、管内生産者や生産組合の支援を行っていく。



【農場審査の様子】

魅力ある農村づくり

■ 女性農業経営アドバイザー 中濃ブロック研修会を開催

10月15日(火)、郡上市の「JAめぐみの郡上トマトの学校」において、中濃ブロック全体研修会が開催され、郡上・武儀・可茂地区のアドバイザー、JAめぐみの、県関係者ら19名が出席した。農業普及課では、開催に当たり支援を行った。

管内では、郡上トマトの学校などを経て、新たに農業を始める生産者が増加している。

当日は、JAめぐみの新規就農者の育成事業、郡上トマトの学校の概要、研修生の就農後の計画等について話を聞き、研修生と交流が行われた。

アドバイザーからは、「新しく農業を始めたばかりのころは生活が大変なため、奥さんとも交流を行い、何かアドバイスできれば良い」との意見が上がり、新規就農者に関心を持つ機会となった。

引き続き農業普及課では、女性農業経営アドバイザーの活動を支援していく。



【郡上トマトの学校での研修会の様子】